



NEWS RELEASE

2016.12.7

日清食品株式会社 新工場建設に関するお知らせ

日清食品株式会社（社長:安藤 徳隆）は、滋賀県栗東市（りっとうし）に、関西工場（仮称）を新たに建設することを決定しました。完成（第3期工事完了）は、2019年12月の予定です。なお、日清食品の新工場建設は、1996年の静岡工場に次ぐものです。

IoTにより製品の安全性とコスト競争力を向上させた「次世代型スマートファクトリー*」



日清食品グループは、2016年5月に「中期経営計画 2020」を発表し、「2020年度時価総額1兆円」を目指しています。本件は、その取り組みのひとつと位置付けており、製造工場では、生産性向上と品質管理の強化を図り、BCP対策を含めた供給体制を確立することで、中期経営計画の達成を目指します。

現在稼働している滋賀工場（滋賀県栗東市）は、西日本の主要生産拠点として1973年9月から操業しており、高効率の設備の導入や今後の拡張性が課題となっていました。

このたび建設する関西工場では、自社研究所「the WAVE」の独自開発による最新鋭設備の導入とIoT技術の活用により自動化と効率化を進めることで、さらなる製品の安全性とコスト競争力の向上を実現します。また、50%以上の省人化などにより、新工場建設に伴う減価償却費増を上回るコスト削減を目指します。

なお、関西工場は、現滋賀工場から北に約350m離れた場所に位置しており、日清食品が所有している99,865㎡の土地に建設するものです。



*日清食品の考える「次世代型スマートファクトリー」

- ① リアルタイムな工場の見える化を進め、人とシステムと設備の最適な融合を推進し、最大のコスト効率を図る。
- ② 作業から Creative な付加価値の高い仕事に転換し労働生産性を高める。
- ③ エネルギーの効率的利用により環境負荷を軽減する。

■新工場の概要

名称	日清食品株式会社 関西工場（仮称）
所在地	滋賀県栗東市下鉤（しもまがり）333
工事開始年月	2017年5月（予定）
稼働予定年月	2018年8月 第1期操業開始予定（2019年12月第3期操業開始予定）
生產品種	カップ麺、袋麺
敷地面積	99,865 m ²
工場延床面積	113,368 m ²
生産能力（日産）	315万食（第3期操業開始後）
設備投資額	575億円（第3期工事完了時）